

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月14日

上場会社名 秩父鉄道株式会社
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒船 重敏
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 赤岩 一男
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 048-523-3311

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,584	—	105	—	98	—	85	—
20年3月期第1四半期	1,654	△2.5	143	△10.5	133	△11.3	391	269.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	5.71	—
20年3月期第1四半期	26.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	23,726	8,179	34.5	548.76
20年3月期	24,072	8,129	33.7	544.96

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 8,176百万円 20年3月期 8,121百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,350	0.1	160	△21.6	130	△24.9	120	△76.8	8.05
通期	6,580	1.5	230	0.4	170	△11.5	150	△45.1	10.07

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 15,000,000株 20年3月期 15,000,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 100,450株 20年3月期 97,671株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 14,901,225株 20年3月期第1四半期 14,920,103株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国経済の減速、原油などの原材料価格の高騰により、企業収益が悪化、また、物価の上昇により個人消費も低迷するなど、景気の後退局面入りが懸念される状況となりました。

このような情勢下でありまして、当社グループは運輸業を中心に輸送の安全確保に取り組むとともに、首都圏からの観光客誘致を図り、沿線自治体や他の交通機関、観光施設などと連携した積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。

当第1四半期連結会計期間の営業収益は1,584百万円、前年同期に比べて4.2%減少いたしました。営業利益は105百万円、経常利益は98百万円、四半期純利益は85百万円となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

[運輸業]

鉄道事業におきましては、旅客部門は、ガソリン価格高騰の影響もあり堅調に推移いたしました。バス事業及びタクシー事業は、利用客の減少と燃料価格の上昇により、厳しい経営状況にあります。

運輸業全体といたしましては、営業収益は1,132百万円、営業利益は6百万円となりました。

[不動産業]

不動産業におきましては、不動産貸付収入は順調に推移いたしましたが、土地建物販売・請負工事等は低調で、営業収益は136百万円、営業利益は78百万円となりました。

[卸売業]

卸売業におきましては、売店等の売上が伸び悩み、営業収益は150百万円、営業損失は1百万円となりました。

[レジャー・サービス業]

レジャー・サービス業におきましては、積極的な宣伝活動を実施いたしましたが、天候不順の影響もあり低調に推移し、営業収益は177百万円、営業利益は7百万円となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は125百万円、営業利益は5百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して345百万円減少し23,726百万円となりました。

負債の部は、前連結会計年度末と比較して395百万円減少し15,547百万円となりました。

純資産につきましては、49百万円増加して8,179百万円、自己資本比率は34.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ138百万円減少し、824百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は 30 百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益 99 百万円の計上と仕入債務 195 百万円の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は 60 百万円となりました。これは、固定資産取得による支出 119 百万円と工事負担金等受入による収入 51 百万円との相殺によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は 108 百万円となりました。これは、短期借入金による収入額 171 百万円と、長期借入金の返済による支出額 279 百万円を反映したものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 21 年 3 月期の業績予想につきましては、平成 20 年 5 月 21 日公表いたしました第 2 四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年間償却予定額を期間按分して算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

従来、主として最終仕入原価法並びに個別法による原価法によっておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日）が適用されたことに伴い、収益性の低下が認められるたな卸資産については、正味売却価額をもって貸借対照表価額（簿価切下げの方法）とすることといたしました。なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	828,077	966,850
受取手形及び売掛金	386,755	457,309
分譲土地建物	353,339	358,447
商品及び製品	33,558	32,067
原材料及び貯蔵品	31,763	37,129
その他	130,843	131,951
貸倒引当金	△15,211	△11,478
流動資産合計	1,749,126	1,972,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,049,512	13,010,787
減価償却累計額	△8,313,818	△8,263,667
建物及び構築物（純額）	4,735,693	4,747,119
機械装置及び運搬具	5,557,147	5,562,358
減価償却累計額	△4,903,372	△4,871,766
機械装置及び運搬具（純額）	653,774	690,592
土地	15,785,148	15,785,148
建設仮勘定	10,768	27,325
その他	662,359	655,402
減価償却累計額	△533,960	△523,877
その他（純額）	128,398	131,525
有形固定資産合計	21,313,782	21,381,710
無形固定資産		
投資その他の資産	26,453	26,356
投資有価証券	586,160	637,399
繰延税金資産	1,373	1,497
その他	66,970	74,284
貸倒引当金	△17,255	△21,307
投資その他の資産合計	637,249	691,874
固定資産合計	21,977,485	22,099,941
資産合計	23,726,612	24,072,219

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	174,674	370,529
短期借入金	1,393,760	1,222,260
1年内返済予定の長期借入金	899,328	980,010
未払法人税等	28,390	50,052
未払消費税等	67,787	29,264
繰延税金負債	569	744
賞与引当金	145,624	239,739
その他	873,424	827,870
流動負債合計	3,583,558	3,720,469
固定負債		
長期借入金	2,316,754	2,515,705
繰延税金負債	180,429	202,307
再評価に係る繰延税金負債	6,141,765	6,141,765
退職給付引当金	2,269,304	2,290,062
特別修繕引当金	48,875	46,000
固定資産撤去損失引当金	383,000	383,000
長期預り金	623,666	643,498
固定負債合計	11,963,795	12,222,339
負債合計	15,547,354	15,942,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	22,219	22,219
利益剰余金	△1,476,996	△1,562,131
自己株式	△22,996	△22,420
株主資本合計	△727,773	△812,333
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	286,821	316,246
土地再評価差額金	8,617,205	8,617,205
評価・換算差額等合計	8,904,026	8,933,452
少数株主持分	3,005	8,292
純資産合計	8,179,258	8,129,411
負債純資産合計	23,726,612	24,072,219

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業収益	1,584,468
営業費	
運輸業等営業費及び売上原価	1,099,055
販売費及び一般管理費	※1 379,801
営業費合計	1,478,857
営業利益	105,611
営業外収益	
受取利息	42
受取配当金	7,175
不動産賃貸料	1,098
物品売却益	6,587
雑収入	6,634
営業外収益合計	21,539
営業外費用	
支払利息	25,469
雑支出	2,702
営業外費用合計	28,172
経常利益	98,978
特別利益	
工事負担金等受入額	13,384
特別利益合計	13,384
特別損失	
固定資産圧縮損	12,632
固定資産除却及び撤去費	120
特別損失合計	12,752
税金等調整前四半期純利益	99,610
法人税、住民税及び事業税	19,877
法人税等調整額	△50
法人税等合計	19,827
少数株主損失(△)	△5,351
四半期純利益	85,135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	99,610
減価償却費	96,208
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△20,758
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△94,115
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△319
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	2,875
受取利息及び受取配当金	△7,218
支払利息	25,469
固定資産除売却損	1,934
固定資産圧縮損	12,632
工事負担金等受入額	△13,384
売上債権の増減額 (△は増加)	57,583
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,983
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△37,082
仕入債務の増減額 (△は減少)	△195,854
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	160,496
長期預り金の増減額 (△は減少)	△19,832
その他	△4,728
小計	72,500
利息及び配当金の受取額	7,218
利息の支払額	△25,125
保険金の受取額	12,970
法人税等の支払額	△36,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△119,231
工事負担金等受入による収入	51,100
その他投資等回収による収入	7,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	171,500
長期借入金の返済による支出	△279,633
自己株式の増減額 (△は増加)	△575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,708
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△138,772
現金及び現金同等物の期首残高	963,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 824,909

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

(単位：千円)

	運 輸 業	不 動 産 業	卸 売 業	レジャー・サービス業	そ の 他 事 業	計	消去又は全社	連 結
I 営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	1,130,487	134,481	109,572	176,099	33,827	1,584,468	—	1,584,468
(2) セグメント間の内部収益又は振替高	1,748	1,836	40,905	1,108	91,893	137,492	(137,492)	—
計	1,132,235	136,317	150,478	177,208	125,720	1,721,960	(137,492)	1,584,468
営業利益又は営業損失(△)	6,728	78,050	△ 1,315	7,383	5,674	96,521	9,090	105,611

(注) 1. 事業区分の方法

日本標準産業分類をベースに経営多角化の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

運輸業…鉄道、バス、索道、タクシーの営業を行っております。

不動産業…建物の賃貸、土地及び建物の販売等を行っております。

卸売業…資材の卸しを中心に商品の販売を行っております。

レジャー・サービス業…遊船、動物園、飲食業等を行っております。

その他事業…建設業、電気工事業、旅行業等を行っております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高はないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期) 金額 (千円)
I 営業収益	1,654,065
II 営業費	1,510,156
営業利益	143,908
III 営業外収益	19,476
IV 営業外費用	29,599
経常利益	133,785
V 特別利益	524,533
VI 特別損失	80
税金等調整前四半期(当期)純利益	658,238
税金費用	266,392
少数株主利益	92
四半期(当期)純利益	391,753